

石城郡の譽れ

見よ人格の反映を!!!

今日ぞ郷土に錦を飾る

陸軍參與官比佐代議士

郡を擧げて任官大祝賀會開催

廿六日正午より於聚樂館

「吾等の比佐」「石城の比佐」……かく親しみ、親しまれつゝ一路政治は生命をモットーに邁進されつゝありし比佐昌平先生、今や時めく陸軍參與官に任官、完全に日本の比佐としての第一歩を踏まれたる事は實に石城の誇りでなくて何んぞ、身を持つる事清潔潔白、事に當つて勇往果斷、黨内屈指の少壯代議士として自他共に許す、先生を知る者には事の當前とは言ひ、比佐無能、爲す無き者とお太鼓たゝきし者には、この實在を鑑みて、以て如何と爲す哉、去るにても笑止——今日ぞ總べての毀譽褒へんの外に立然として飽くまで温和なる而も石城の生める「日本の比佐」の勇姿を迎へて此處に全郡を擧げて先生の陸軍參與官任官の一大祝賀會を催すことは今日まで沈黙を守りし石城郡民政部會本來の面目躍じよたり而して近來の一大痛快事なると共に沈滞混濁せる石城郡政界現狀にとりて一服の清涼劑ではあるまいか、口にとりて數百萬言を費すとも一の節義の現はれに若かざるを知るや知らずや節を賣り、心を賣り、身を賣りあまつさへ人を賣りやがて來らんとする自然の制裁をすら覺り得ぬ所謂政治家の多き世に民政黨所屬代議士二百七十餘ある中に芙蓉の群嶽を靜かに見下すにも似て人格清淨第一と先づ第一に指折らるゝ比佐昌平先生を選出した石城郡民諸君も亦省みて今日こそ朝らかに心より誇り得るのである「徳孤ならず」宣べなる哉先生今日の榮譽も決して偶然なるものではないのである、先生の至孝は餘りにも有名である、至孝なる人にして初めて至忠孝本來の意義も先生の如き人格者によりてこそ此處に全く躍動するのである、かく説き來り且つ感ずる時先生を選出せる石城郡民こそ眞に石城郡を理解し石城の郷土を熱愛する眞情の所有者であることを筆者は確信する者である、愛黨の士否郷土愛に燃ゆる士は來れ!!!目を遠方に点じて而して石城と比佐と郡民諸君とは永久離るべからざるトリオなる自覺の下にこそ本日正午よりの集ひはよし映づるは粗酒粗肴なりと無言の中に流るゝ親しみは何處の高樓に於て絃歌さんざめく間に拘む盆にもまして郷土愛の三字を如實に示す甘き一盃となりて先生今後の活動の一助となり延いてはそれがやがての石城郡發展の道程となり得るのである。

政談大演說會

出席 陸軍參與官 比佐昌平先生
 縣會議員 若松美三先生
 辯士 本部特派 伊藤正雄先生
 日時 四月二十六日午後六時
 場所 於聚樂館
 主催 石城民政青年會

發行日、一、十一、廿一日（毎月三回）
 編輯兼發行印刷人 北川 秀雄
 發行所 福島縣平町南町七十八番地
 廣告料 五號十二字詰一回 五十錢
 一ヶ月二十錢 送料五厘

臨時號